

【研修会報告】

タイトル：ユニフィケーション学習会「コーチングを用いたスタッフ育成」を実施しました

日時：令和7年2月5日(木) 13時00分～14時30分

内容：スタッフ育成の視点を広げ、声かけの技法を学び、面接や面談の実践を通して、スタッフの持つ力、やる気、能力を引き出し、チーム力向上につなげることを目的として学習会を実施した。

【意見・感想】

- ✚ 島根県立大学 小田美紀子教授と島根県立こころの医療センターの副看護師長で「コーチングを用いたスタッフ育成」についての学習会を企画し、開催しました。当日は副看護師長 11 名が参加しました。
- ✚ コーチングとは「まわりの人を自ら考え、自ら判断し、自ら行動を起こさせる自律した人へと育てていくためのコミュニケーション技術」ということであると教えていただきました。講義では、コーチングにとって必要なエッセンスである「プロセス」「目標設定」「承認」などについて具体的な質問の仕方を学び、演習を行いました。面接者、被面接者を体験することにより課題や、改善点に気付くことができ、参加者からも「コーチングは相手のことを知る、知ろうとすることが一番大切なのかなと思いました。」「面接の仕方(流れ)のイメージができて参考になった。」「待つ」ことを大事に必ずあるであろう思いを引き出せたらいいなと思いました。」という感想・意見がありました。
- ✚ 「待つ」「許す」「信じる」を実践し、お互いを認め合える組織風土づくりにもコーチングを活用していきたいと思います。



講義の様子



面接者、被験者のロールプレイ場面